

省エネ講座

工場の 省エネルギー

～生産コスト削減に新たな視点を提供する～

◆ 関西電気保安協会

「省エネルギー」の新視点

生産システムの
改革

エネルギーコストの
削減

環境と社会への
貢献

変革

市場競争力
品質・価格・顧客サービス

21世紀の優良企業



省エネルギー法改正の概要Ⅰ

平成17年8月成立・公布、平成18年4月施行

地球温暖化防止に関する京都議定書の発行を踏まえ、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」が抜本改正されました。

主なポイント

- ①工場・事業所 産業部門における取組みを強化
- ②運輸(新設) 新たに輸送業者と荷主を省エネ法の対象とし、輸送分野での省エネ対策を導入
- ③住宅・建物 住宅・建物における取組みを強化
- ④その他(新設) 消費者への省エネルギー情報提供の充実



省エネルギー法改正の概要Ⅱ

工場・事業所など産業部門における改正のポイント (平成18年4月施行)

・従来の熱と電気の区分を廃止し、熱と電気を合算(原油換算)して規制。

- 義務
- ①. 中長期計画の策定
 - ②. 定期報告
 - ③. エネルギー管理者(員)の選任 (熱と電気両方の知識を備えた者)

第一種エネルギー管理指定工場 : 3,000kL／年以上

熱と電気両方の知識を備えたエネルギー管理士の資格保持者を配置

第二種エネルギー管理指定工場 : 1,500kL／年以上

熱と電気両方の知識に関する講習を受講したエネルギー管理員を配置

・対象工場、事業所数の拡大。
(約1万→約1万3千)

改 正 前
電気750kL
熱 800kL

指
定
外

改 正 後
電気750kL
熱 800kL
合計1550kL

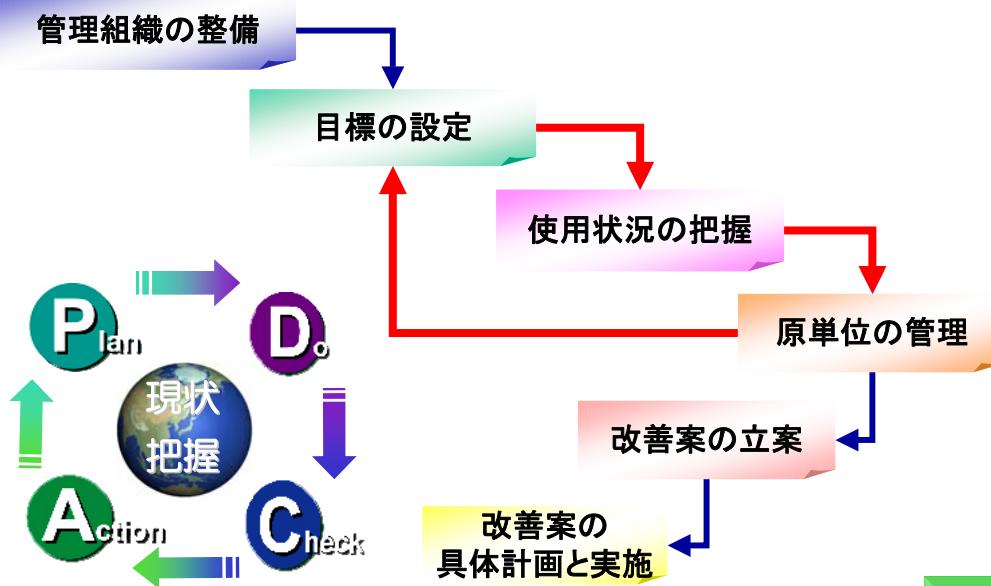
第
二
種
指
定
工
場

・経過期間 5年
(経過期間中は旧熱管理士・旧電気管理士の併置による対応を容認)

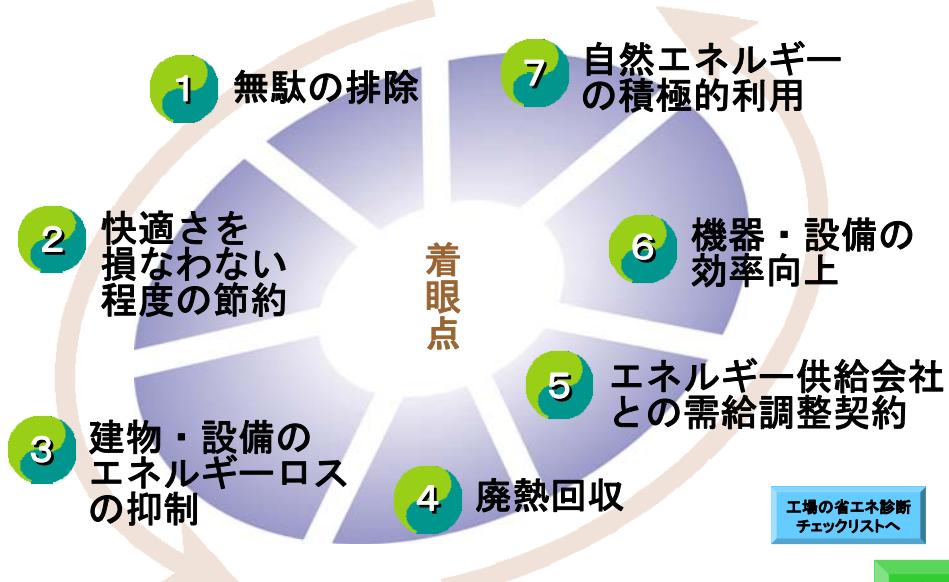
(電気750kL=約300万kWh)



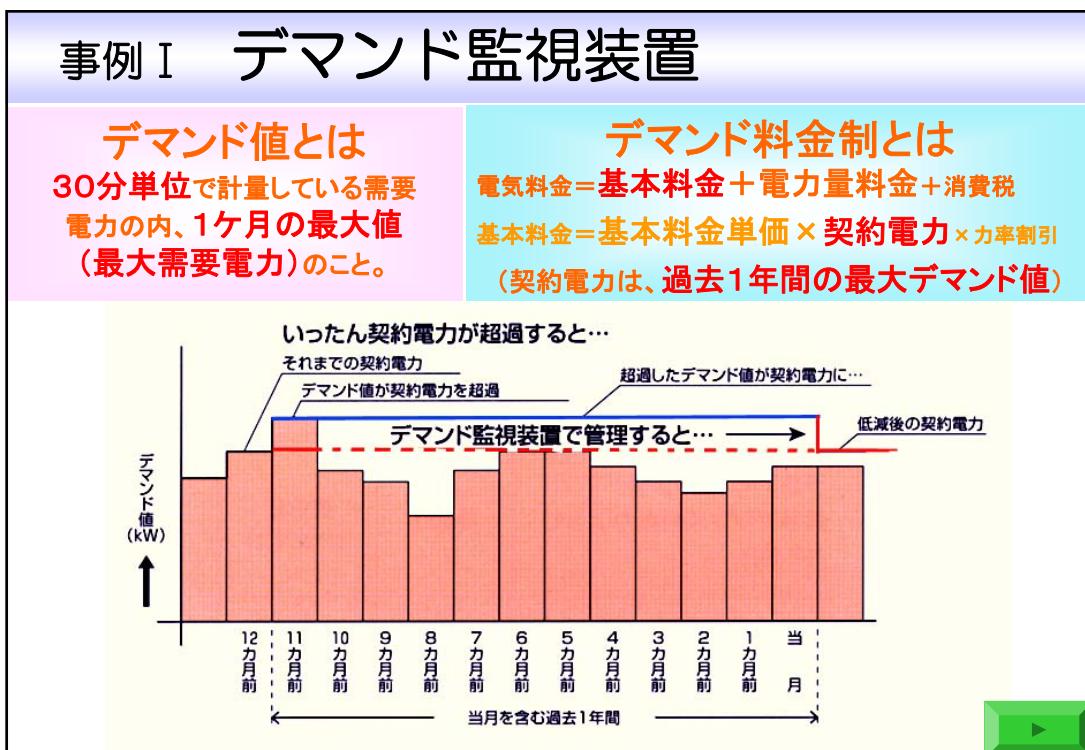
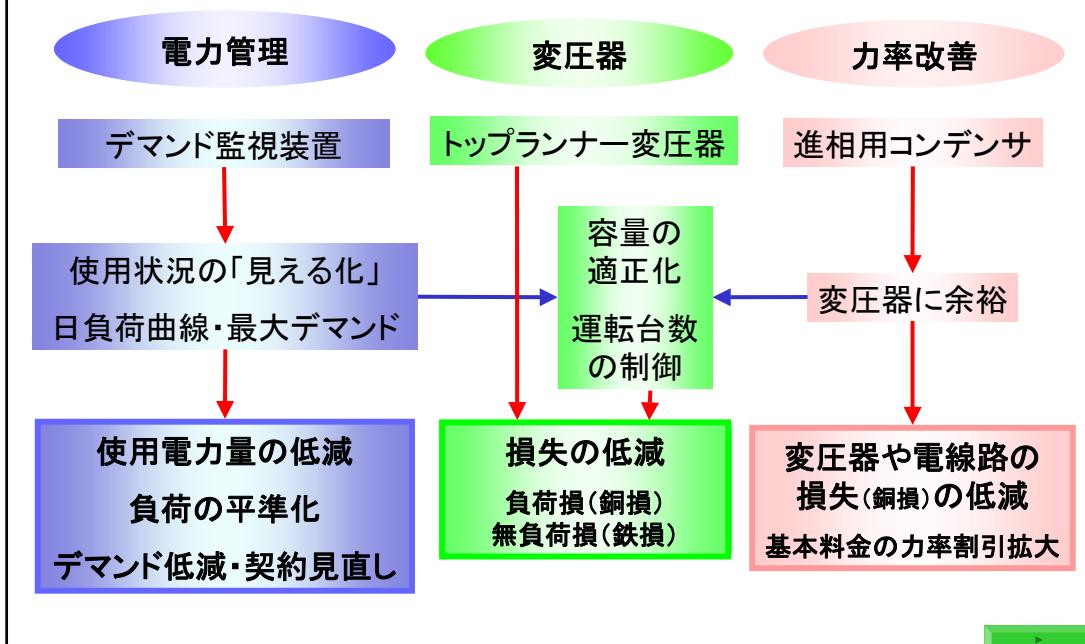
エネルギー管理の進め方



省エネルギーの着眼点

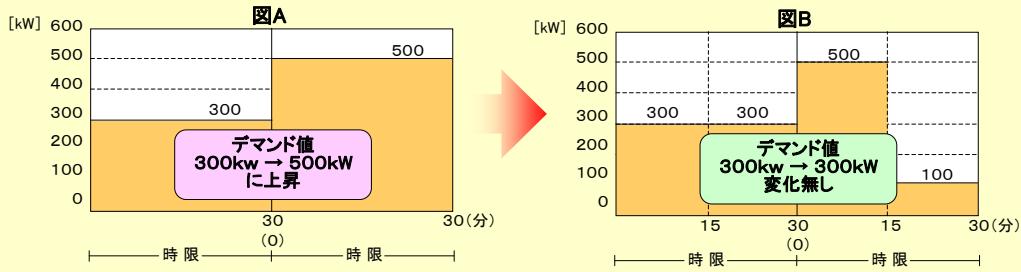


受電設備の省エネルギー



事例 I デマンド監視装置

デマンド監視を行い、負荷制御をすればデマンド値を抑制することができます。



契約電力(最大デマンド)を10kW
下げることで
年間約13万円コスト削減
電力使用量も低減可能

事例 II トップランナー変圧器

旧型変圧器3相500kVAを、トップランナー変圧器に交換

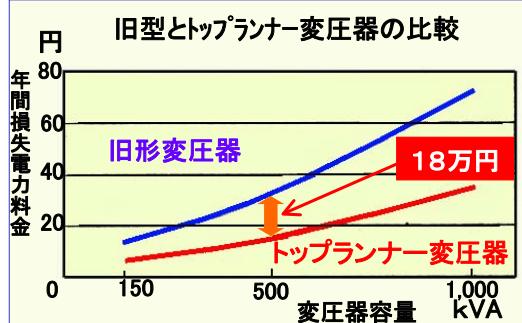
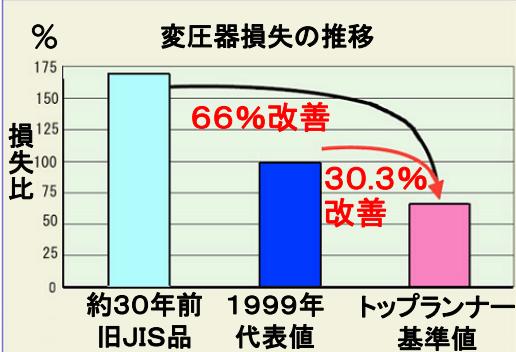


1年間の全損失(負荷率40%)
旧型変圧器 27,000 kWh
トップランナー 12,000 kWh

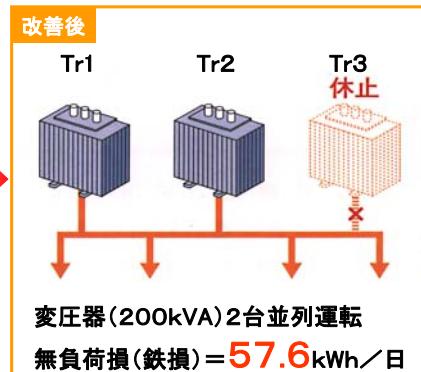
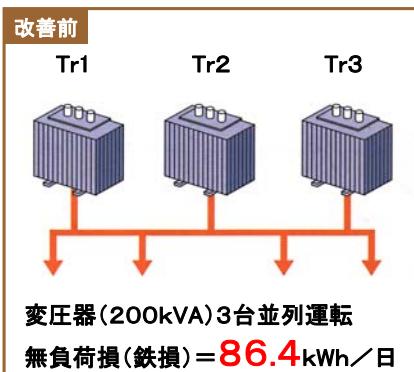
電気料金 18万円/年低減

電気使用量
15,000 kWh/年低減

CO₂ 8.3トン/年低減



事例Ⅲ 変圧器の運転休止

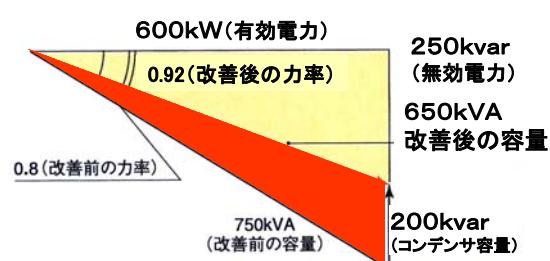
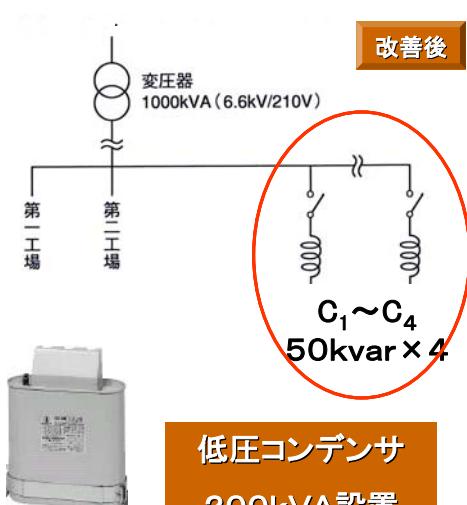


損失による電気使用量
10,500kwh/年低減

電気料金
12万6千円/年低減

CO₂ 5.8トン/年低減

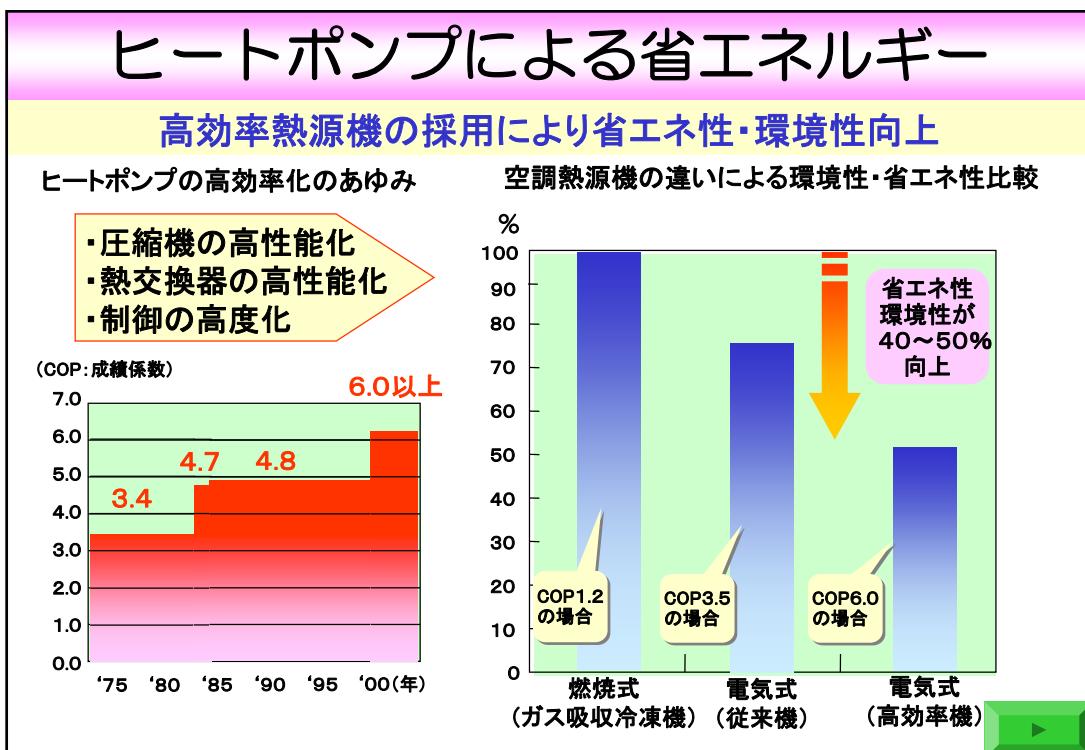
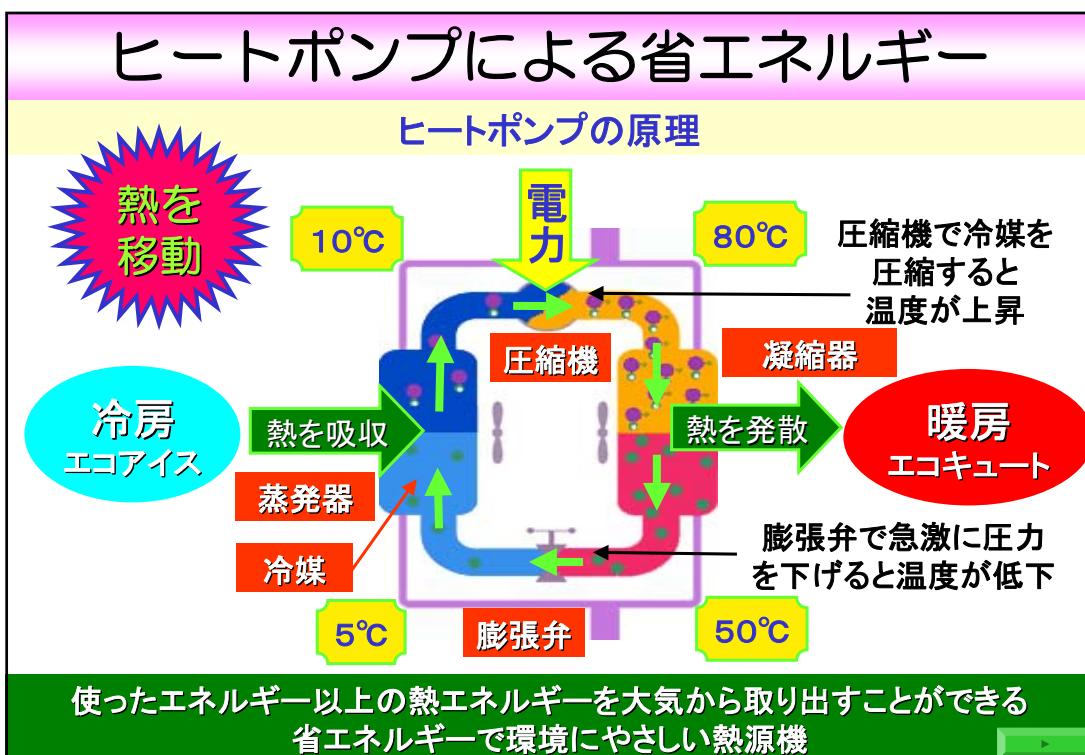
事例Ⅳ 進相用コンデンサの設置



改善前 750kVA 力率 0.80

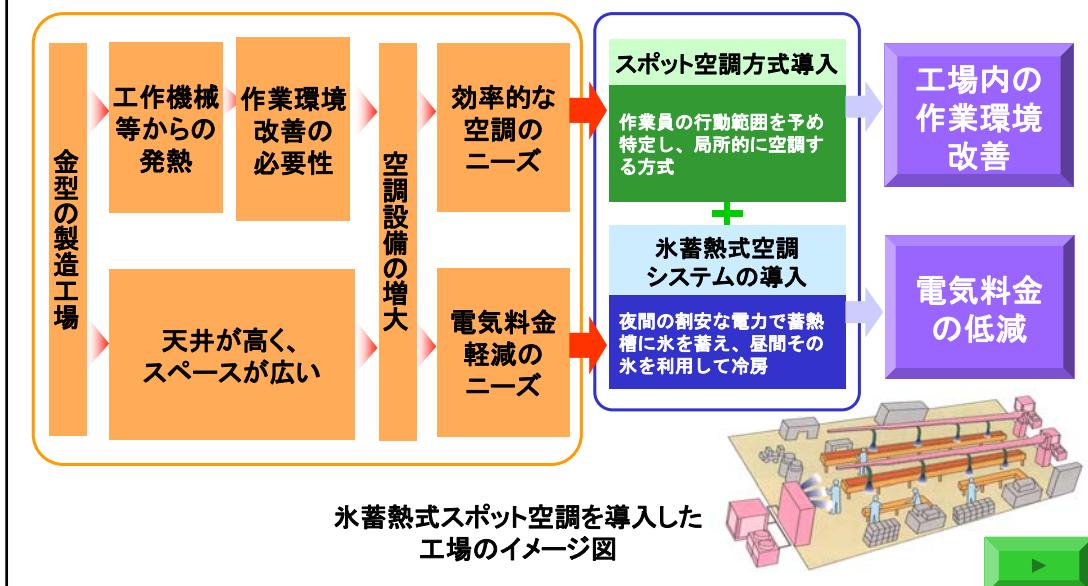
100kVA改善

改善後 650kVA 力率 0.92



事例Ⅰ エコアイス（氷蓄熱式空調システム）

金型製造工場へのエコアイス＆スポット空調の導入



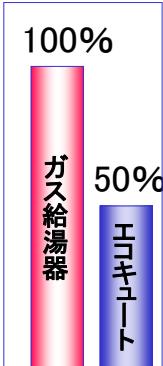
事例Ⅱ エコキュート（ヒートポンプ給湯器）

食品工場に「エコキュート」の導入



自然冷媒(CO₂)を使った、ヒートポンプ給湯システム。
オゾン層破壊係数ゼロで、環境にやさしく高効率。
夜間の割安な電力を利用し、ランニングコスト低減

ランニングコストの比較



エコキュート導入
(ヒートポンプ給湯器)
定格加熱能力 14.0 kW
定格消費電力 3.14 kW

ランニングコスト
約50%低減



汎用インバーターによる省エネルギー

インバーター：電源周波数と電圧を変化させることで電気機器を制御する装置

ファン、ポンプ等の
3相誘導電動機の制御

$$\text{回転数をN、周波数をf、電動機の極数をPとすると} \\ N = \frac{120}{P} f \text{ [rpm]}$$

設置前



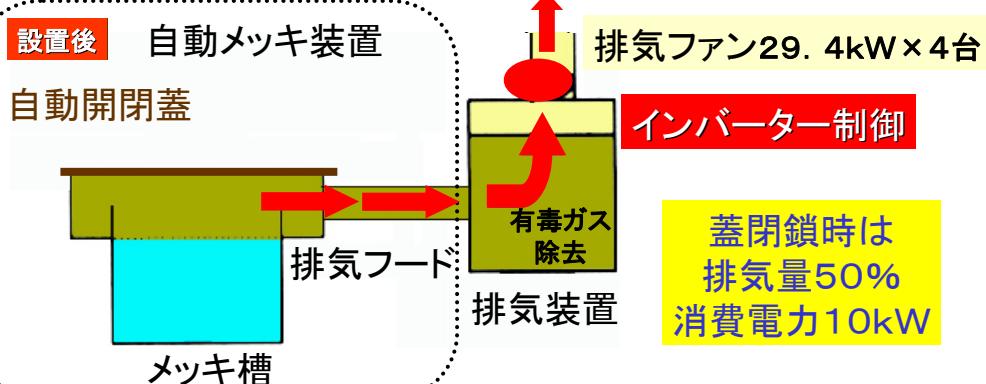
設置後



エネルギーを「必要な時」に、「必要な量」だけ使用

事例 I メッキ槽排気ファンの制御

現状は、蓋閉鎖時は過大な排気になっているので、インバーターで制御する。

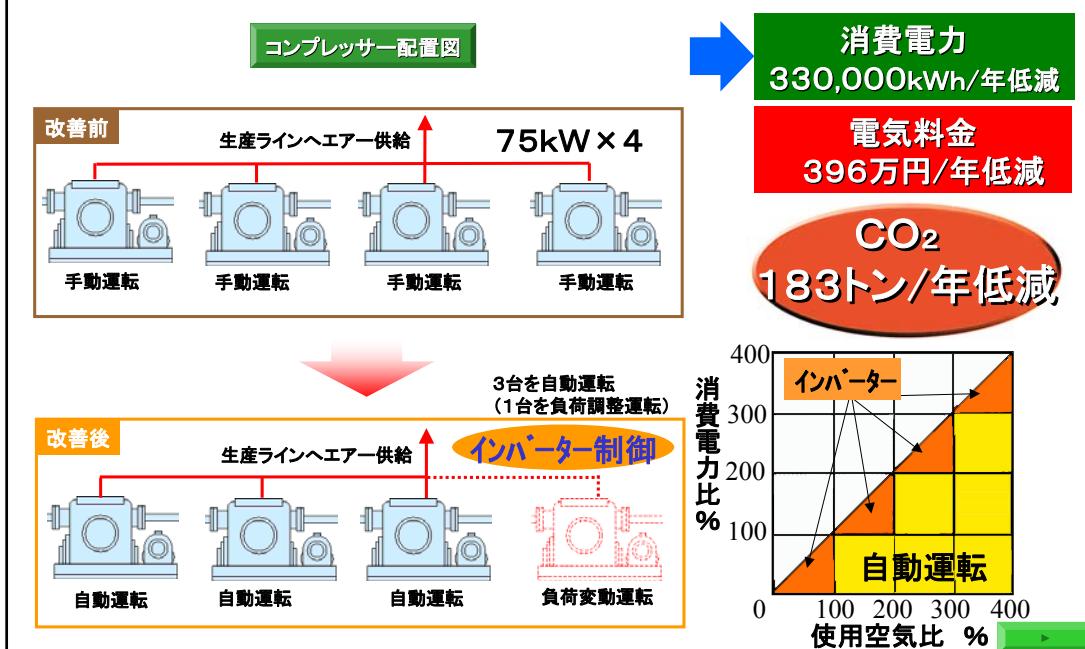


消費電力
97,359kWh/年低減

電気料金
116万円/年低減

CO₂ 54トン/年低減

事例Ⅱ コンプレッサーの制御



照明の省エネルギー

高効率蛍光灯器具の導入			
安定器の種類	ランプ・明るさ	消費電力	効率
従来の安定器 (磁気安定器)	40W × 2灯 6,000 lm	88 W 68 lm/W	100%
電子安定器 (インバーター)	40W × 2灯 6,000 lm	70 W 85 lm/W	125%
Hf 電子安定器 高周波点灯専用形 ランプ用電子安定器	Hf32W × 2灯 6,400 lm	64 W 100 lm/W	150%

白熱電球を電球形蛍光灯に交換

効率 4倍、寿命 6倍
長時間使う所は、効果大

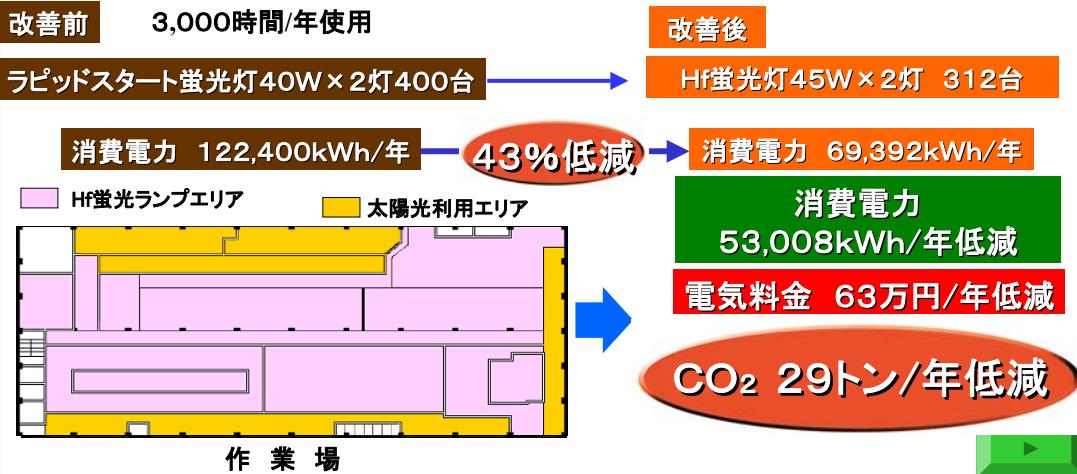
白熱電球60型54W (寿命1,000時間) → 電球形蛍光ランプ12W (寿命6,000時間)
同じ明るさ

事例 I Hf 蛍光灯器具に取り替え

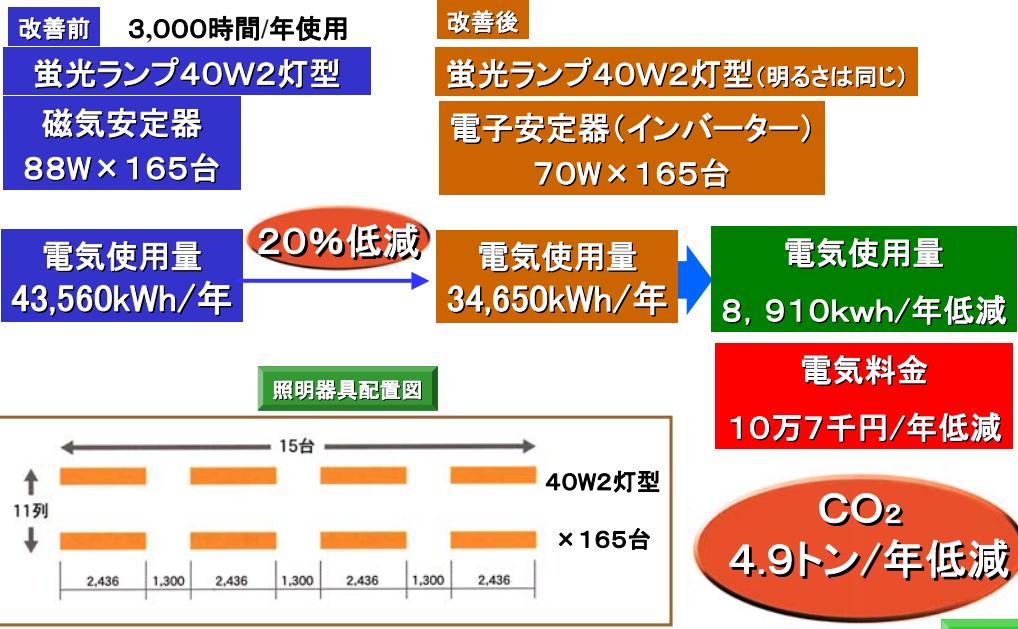
・Hf蛍光灯を生産行程に合わせて設置し、使用台数を削減。

・Hf蛍光灯は、調光が可能のため、この特性を活用する。

太陽光利用エリア:調光(11%省エネ) 全体の出力調整:調光(15%省エネ)



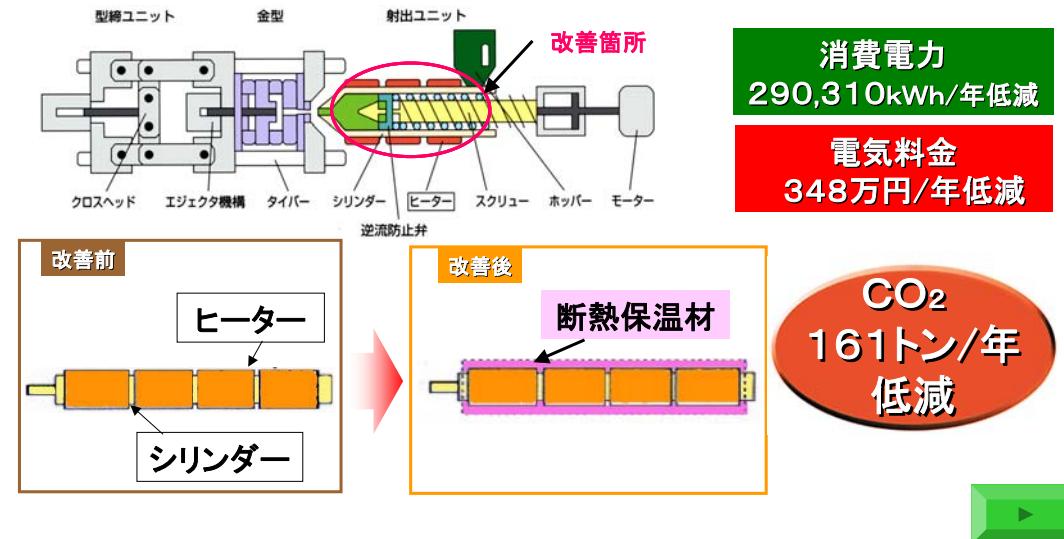
事例 II 蛍光灯安定器を取り替え



事例 使い方の工夫

プラスチック成形器における保温材の改善

保温材の効果0.84kWh/台、空調機0.28kWh/台低減 設備台数30台、年間8,640時間使用



省エネで快適な地球環境を
守りましょう！



関西電気保安協会

資料提供
財団法人 省エネルギーセンター

工場の省エネ診断チェックリストⅠ

みなさまの会社では、電気を効率的に使用されていますか？以下の質問に
答えて確かめてみませんか？

このリストでは、「はい」にチェックが多いほど、熱心に省エネに取り組まれて
いることを表しています。

●電力管理●

電気の使用量について、具体的な省エネ目標を
設定していますか。

はい いいえ

毎月の使用電力量を電灯・電力別に把握、管理していますか。 はい いいえ

デマンド監視装置で電気使用量を管理していますか。 はい いいえ

デマンド監視装置で最大電力を管理していますか。 はい いいえ



工場の省エネ診断チェックリストⅡ

●受配電設備●

高効率型変圧器を使用していますか。

はい いいえ

夜間や休日などに、不使用の負荷設備を遮断していますか。

はい いいえ

負荷設備にコンデンサを取り付けるなど、低圧の力率改善を行っていますか。

はい いいえ

負荷設備端の電圧(端末電圧)は適正に管理していますか。

はい いいえ



工場の省エネ診断チェックリストⅢ

● 照明設備 ●

高効率のランプや器具を採用していますか。	はい いいえ
照明器具の取付位置や高さは適切になっていますか。	はい いいえ
照明器具の清掃は計画的に実施していますか。	はい いいえ
不要時に部分的な消灯ができる配線にしていますか。	はい いいえ
作業場所ごとに、適正な照度になっていますか。	はい いいえ



工場の省エネ診断チェックリストⅣ

● 空調設備 ●

各部門の室内温度を設定し、測定・管理をしていますか。	はい いいえ
空調設備の清掃は計画的に実施していますか。	はい いいえ
ブラインドの取付など、日射の遮断に工夫をしていますか。	はい いいえ
外気侵入などによる、熱損失を防いでいますか。	はい いいえ
外気の利用など効率的な運転をしていますか。	はい いいえ
高効率機器(蓄熱式ヒートポンプ等)を採用していますか。	はい いいえ
排熱の利用について検討していますか。	はい いいえ



工場の省エネ診断チェックリストV

●その他設備●

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| モーターの無負荷時には運転を停止していますか。 | はい　いいえ |
| モーターの運転制御にはインバーターの採用などを検討していますか。 | はい　いいえ |
| ポンプの使用流量や圧力を管理していますか。 | はい　いいえ |
| コンプレッサーの適正圧力を管理していますか。 | はい　いいえ |
| 圧縮空気の漏れを管理していますか。 | はい　いいえ |
| コンプレッサーを複数台並列運転している場合には台数制御をしていますか。 | はい　いいえ |

受電設備の
省エネルギーへ